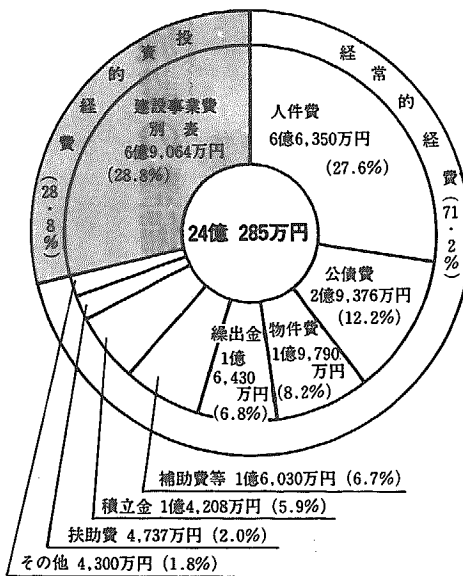


### 村 債 の 現 在 高

(昭和63年度末)

道路・橋りょう・公園	5億 805万円
義務教育施設(小・中学校)	4億7,800万円
農 業 施 設	3億3,744万円
役 場 庁 舎	2億6,984万円
保 育 所	1億2,052万円
老人福祉センター	7,200万円
そ の 他	8,334万円
合 計	18億6,919万円

### 〈表3〉性質別経費

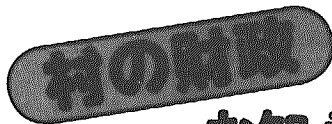


### 〈別表〉投資的経費

- 庁舎敷地整備、交通安全施設 496万円
- 老人福祉センター・デイサービスセンター建設、中央保育園用地取得他 2億2,258万円
- 不燃物埋立地移設工事他 115万円
- 勤労者体育館用地取得及び造成工事 1,548万円
- 農道整備事業、集落開発センター事業、野菜産地総合整備対策事業、農村総合整備モデル事業、木津農免農道負担金 2億 631万円
- 道路改良整備、水路改良工事、たん水防除事業、地盤沈下対策事業 1億7,169万円
- 消防施設整備 245万円
- 小・中学校施設整備、中学校増築工事、公民館施設整備 6,586万円
- その他 16万円
- 計 6億9,064万円

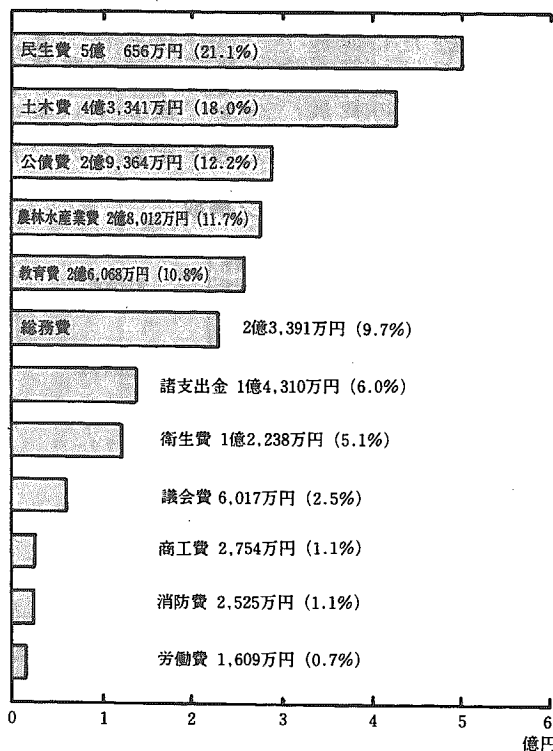
○村民一人当たり使ったお金 (前年度対比一・五三、一・五二) 一九七、〇〇六円  
 ○村民一人当たり借金残高 (前年度対比一・九七、〇〇六円) 一九七、〇〇六円  
 (前年度対比一・九%)

# 魅力ある豊か



## お知らせします

### 〈表2〉歳出24億285万円



歳出の状況は(表2)、老人福祉センター・デイサービスセンター建設などがあつた民生費が二一・一%、下水道会計繰出金や中央土地区画整理関連での道路整備などがあつた土木費が一八・〇%と続いています。村債の返済にあつては公債費では、高金利の村債の繰上償還四千四百六十万円をするほか、庁舎建設で底をついた財政調整基金の積立七千二百二十二万円をするなど(累計一億六千六百五十七万円)、財政の健全化に留意しています。

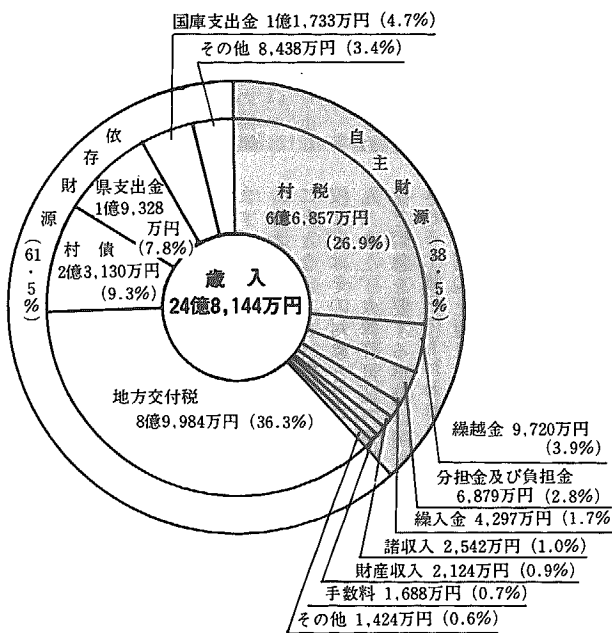
また、性質別経費(表3)をみますと、職員給与や議員など各種行政委員の報酬である人件費や公債費などの経常的経費が七一・二%、老人福祉センター建設や農村総合整備モデル事業など積極的な予算編成の結果投資的経費が二八・八%となっています。

おもな内容については、(別表)を参照ください。(この決算見込みについては、今後、村議会でご審議されることとなります。)

# な村づくりを

## 昭和63年度一般会計 決算見込み

### 〈表1〉歳入24億8,144万円



村のお金がどのように使われ、村財政はどのように運営されているかを、村民のみなさんから知っていただくため、昭和63年度の決算見込み(一般会計)をお知らせします。



今年3月完成した老人福祉センター・デイサービスセンター

	村民1人当たり
村民税	3億 698万円 32,355円
固定資産税	2億8,829万円 30,385円
たばこ消費税	3,349万円 3,530円
電気・ガス税	2,635万円 2,777円
軽自動車税	897万円 945円
その他	667万円 703円
合計	6億7,075万円 70,695円

(前年度対比2.9%増)

### 【説明】

## 六十三年一般会計の決算 七千八百五十九万円の黒字に

昭和六十三年一般会計は、当初予算二十一億五千五百万円スタートしました。その後、七回の補正を行い決算額(見込み)は、歳入二十四億八千四百四十四万円に対して、歳出二十四億二百八十五万円となり、差引き七千八百五十九万円の黒字となりました。

これは、人件費や物件費など年々固定的に支出される経常的経費の抑制を図るとともに、地方交付税の伸びや村税などで増収となったことによるものです。しかし、現在の国の財政状況を反映して、この自治体でも苦しいやりくりが強いられるように、当村においても借金(村債)による財政運営を余儀なくされるなど、依然として厳しい財政事情となっています。このようななかで、ますます増大する行政需要に対応するため、村財政のやりくりは、一層の効率的運営で健全化を図っていくことが課題となっています。

### 効率的運営で

### 財政の健全化に留意

歳入をみてみますと(表1)、村民税など自分の村で確保できるお金(自主財源)は三八・五%、これに対して、地方交付税や村の事業に対する国・県の補助金等、それに借金(村債)など依存財源は六一・五%となっています。

このなかでも、借金財政から抜けだすため借金を極力抑えたものの二億三千三百三十万円(九・三%)となり、借金をしなければ行政運営ができませんという極めて苦しい地方財政の実情にあります。現在の借金残高は、一般会計だけでまだ十八億六千九百九十九万円となっており、村民一人当たり十九万七千六百円の借金をしている勘定となり、苦しい村の台所といえます。